

何歳になっても精神は
人生の現役であれ!
いつまでも若々しい
脳でいるために。



じゅうがつよっか

10月4日
ひやくよんさいに
104歳に
ひやくよんく
104句

私は98歳から俳句をはじめた。
いくつになっても
新しいことにチャレンジできる。
この本がその証明です。



日野原重明
●本体1200円

写真・齋藤文雄

「亡き妻が
眠りし庭に
彼岸花」
「百四歳
長い道にも
まだ何か」
「オスプレイに
できない芸を
やるトンボ」

延命か縮命かの見極めがわかる2冊

抗がん剤10の「やめどき」

がんを長く生きるためには、治療の「やめどき」が肝心。決めるのは医者じゃない。あなたです!

声の反響が届く々々続々

◆「放置しろ」と言う近藤氏も、ギリギリまで抗がん剤をやれと言おう専門医も同じくらい罪深い。答えは中庸にある」と言う著者の言葉に納得」

◆「川島なお美さんも近藤誠医師のセカンドオピニオンを受けたそうですが、この本を読んでいたら...と思わずにはいられません」

◆「ステージIV末期がんではない、という言葉に我が意を得た。私は医療のいいところ取りをして、まだまだ生きます」



長尾和宏
●本体1333円

長尾先生、

長尾和宏 ●本体1300円

「近藤誠理論」のどこが

間違っているのですか?

あなたのがん、
放置するべきか?
どこまで治療を続けるべきか?
本書の中から答えを
見つけてください。